**ハンドマイク街頭演説原稿例　　　コロナ収束・河井問題・都議選**

二〇二一年五月三十一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、コロナ変異株が猛威をふるうなか、東京都などの緊急事態宣言と、埼玉県などのまん延防止等重点措置が、６月20日まで延長されました。この一年あまり、「後手後手」「迷走」を続け、政府としてやるべきことをやってこなかった自公政治の責任であり、まさに菅政権による人災ではないでしょうか。高齢者へのワクチン接種をめぐっても混乱が続いており、このままではコロナ収束はまったく見通せません。

　日本共産党は、「３つの柱」で政府が責任を果たすことを強く求めています。第一は、ワクチンの安全・迅速な接種に国が責任を負うことです。第二は、大規模検査を文字通り実行し、感染を徹底的に封じ込めることです。第三は、営業への十分な補償と国民への生活支援を行うことです。また、医療機関への減収補てんなど医療体制の強化、コロナ対策と両立しない東京オリンピック・パラリンピックは中止することを国に強く求めています。日本共産党は、国民のいのちと生活を守る政治の実現へ、引き続き全力で頑張る決意です。

　さてみなさん、２０１９年の参院選広島選挙区での、河井案里元参院議員と夫の克行元法務大臣による大型買収事件では、すでに案里氏の有罪が確定し、まもなく克行氏への判決言い渡しが予定されています。裁判の中で、買収のためのお金は自民党本部からの資金だったとの関係者の発言が出てきました。単に河井夫妻の個人的な問題ではなく、自民党本部が直接関わっていた可能性を示すものです。

　自民党本部からのお金で大型買収事件が起こされた疑いが強まっている中、当の自民党本部はその疑問に答えようとせず、二階幹事長などの幹部が「自分は関係ない」と繰り返すばかりです。疑惑を持たれている政党として、あまりに無責任ではありませんか。みずから過ちをただすことのできない政党に、政権をになう資格などないのではないでしょうか。今年必ず行われる衆議院選挙で、自民党に厳しい審判をくだしましょう。

　みなさん、お隣の東京都では、７月４日投開票で東京都議会議員選挙がたたかわれます。日本共産党は、５月末現在で31人の都議候補を擁立し、全員当選めざし奮闘しています。都内へは埼玉から毎日93万人が通勤・通学し、都内在住の家族や知人がいる方も少なくありません。今度の都議選の結果は、みなさんの仕事やくらしに少なからず影響が与えることになります。共産党都議団の躍進は、職場での社会的検査の拡大など都独自のコロナ対策の充実、小池都知事の東京五輪の中止決断へ大きな力となります。そして、何よりも、来るべき総選挙に向けた政権交代への野党共闘の深化に大きなインパクトをあたえるのではないでしょうか。今度の都議選では、みなさんの大きなご支援を日本共産党にお寄せいただきますようよろしくお願いします。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）